

高校生通信

トピックス

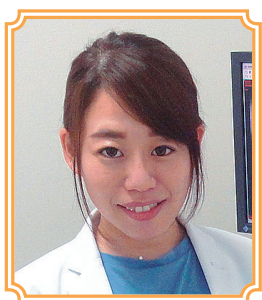
- Road to Doctor P 2
- 私の大学自慢 P 3

愛知民医連に加盟する協立総合病院（熱田区）



医師からの メッセージ

千秋病院 初期研修医2年目 安井 杏奈



高校生通信をお読みになっている皆様、こんにちは。千秋病院研修医2年目の安井杏奈と申します。入試を控えている皆様、とても寒くなってきましたのでどうか体調に気をつけて3月まで乗り切ってください。

私は小・中・高と公立の学校出身、父は私が6歳の頃から地域に根付いたクリニックを経営しています。自宅が病院で、物心ついた時から働く父の姿をよく見てきました。高校2年生の時、ニュージーランドに1年交換留学を経験しました。ホームステイ先で感染症が流行っており、私にも発疹が出ました。英語もままならない時期で心配でしたが、ホームドクターの診療所に行き、インド人の女医さんに診察していただきました。身振り手振りや図などを用いて私がわかるまで説明してくださいました。結局原因は、私にとっても懐いていたホームステイ先の猫と毎日一緒に寝ていたので、ダニに噛まれたため

の発疹でした。あの時の女医さんの親身に対応してくれた姿がずっと忘れられず、高校3年には決心がつき医師を志すことにしました。高校は進学校でしたが私は劣等生だったので4年も浪人し、やっと入れた大学には8年在籍し、合格点に1点足りずに国家試験浪人も経験しましたが、今となっては全ての経験が人生の糧になったと痛感しています。研修医として働いて1年半以上経ちましたが、毎日が新たな発見の連続で喜びあり悔しさあり、勉強不足を実感しながらも毎日一生懸命患者さんのために走り回っています。わからないことがあればすぐ専門の先生のところへ突撃して教えてもらうのが得意です。これからも物おじせず患者さんのことを最優先にたくさん吸収して、患者さんも患者さんの家族まで丸ごと診られる総合診療医になれるように頑張ります。



Road to Doctor



協立総合病院 初期研修医1年目 赤堀 公紀
(藤田医科大学卒)

医師を目指したきっかけ

初めまして。愛知民医連協立総合病院 研修医1年目の赤堀公紀です。まずはじめに私は三浪して大学に合格しました。受験生としてではよくありません。医師を志望したきっかけも明確なものがなく、親が医師であったため受験しました。志望動機を考えただけで漫然と勉強し、3年間かけ大学に合格し、卒業して今に至ります。医師のよさを理解したのは遅く、大学4年・5年あたりだと思います。病院実習を行い、実際の現場に足を踏み入れて実感することで明確になりました。二次試験では医師志望動機などを書き、話した覚えがありますが、内容はまったく覚えていません。ただ患者に寄り添い、一緒に頑張っていきたいという気持ちは今も変わらずあると思います。そのためには相手をも不安にさせない正しい知識を身に付ける必要があると考え、思ったとおりには行きませんが日々勉強しております。

勉強ができればいいわけではない

勉強ばかりの日々と思うかもしれませんが、そんなことはありません。今はコロナ禍ですが、以前の大学では友人と旅行にいたり、飲み会をしたり楽しいこともいっぱいありました。今振り返って思うのは、人間性を育むことのほうが大事なんだな…と私は思いました。

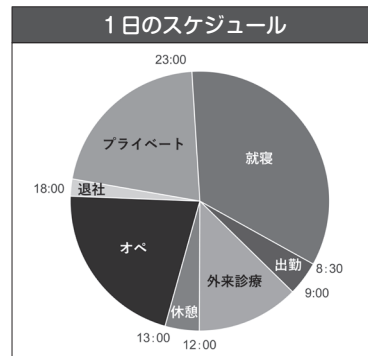
勉強だけができる医師ではなく患者さんの立場や気持ちを考えて寄り添える医師のほうが私はいいなと思います。(私みたいにならないで欲しいです。)

ここで私が今どのようなスケジュールで仕事をしているかをご紹介します。今は初期臨床研修の過程で整形外科を回っています。外来診療やオペを学ぶことが多いです。それ以外にも当番制で救急外来の受け持ち、救急車の受け入れをしたり、上級医から総合診療のカンファレンスを受けたりと学習の時間もたっぷりあります。

1週間のスケジュール

時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:30	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤
9:00 ~ 12:00	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	総合診療 カンファレンス	外来診療
	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	退社
13:00 ~ 17:00	オペ	救急外来	オペ 救急学習会	オペ	オペ	
18:00	退社	退社	退社	退社	退社	

1日のスケジュール



ポジティブな気持ちをもって

毎日、勉強をたくさんしていて大変だと思います。挫けそうになる日もあるかもしれませんが、受験当日までコツコツと積み重ねていきましょう。日々の努力は大切で私自身もまだまだ未熟なところがありますが、無駄になることはないと思います。ポジティブな気持ちで受験に臨みましょう！応援しています！

私の大学自慢

愛知医科大学4年
K.Sさん



● 愛知医科大学 ●

高校生・受験生のみなさん、こんにちは。大学受験の日が近づいてきて、身体的にも精神的にも大変な日が続いているかと思います。そんな状況の中、今回は私が通う愛知医科大学の良い所を2つ紹介しようと思います。

1つ目は、入学直後に新入生ガイダンス・新入生研修という名の交流会があることです。新型コロナウイルス感染症の関係で実施が難しい場合もあるかと思いますが、例年では蒲郡に宿泊し、色々な交流を通じて友人作りがしやすい環境を整えてくれます。入学前から仲のいい人がいれば困らないかもしれませんが、そうではない新入生にとってこうした機会を設けてくれるのは嬉しいポイントです。

2つ目は、臨床の講義が早期に開始されることです。数学、英語、物理、生物、化学などの勉強ばかりしてきた高校生にとって、大学に入ってからすぐに始まる「解剖学」や「生理学」などは良い響きに聞こえるかもしれませんが、いざ始まると思いのほかつまらないと感じる人も出てきます。その期間が早くに終わることを愛知医科大学の魅力とっていいのかは分かりませんが、個人的には良いと思います。最初の2年を耐えられると、3年生からは臨床の講義が始まります。2週間おきに試験があるので大変かもしれませんが、自分の興味の持てる分野が見つかったり、魅力的な先生もいらっしやったりするので頑張れると思います。

他にも良い所は色々ありますが、少しでも良さが伝われば幸いです。みなさんが志望する大学に合格できることを応援しています。



このドクター漫画が
おススメ!!

医師／棚橋 千里
総合病院南生協病院
病理医
名市大93年卒



うちのセンセイ

花塚 由 講談社

おばけ屋敷のような診療所。在宅医療を行っているのですが、そこの院長が仁屋先生です。この医者、強引で人の話は聞かないしなんだかトボけていますが、実は人情味あふれる先生です。

ある日、耳の遠いおばあさんが一人暮らしをしているお宅に往診に行きます。呼び鈴が聞こえないのでドアを開けてもらえませんが、そんなときは、不審者さながら、よじ登って窓からはいります。

老夫婦ふたり暮らしのお宅では、病気のおばあさんを、腰の悪いおじいさんが介護しています。おばあさんは入院を希望しますが、よくよく話を聞いてみると、おばあさんはおじいさんの体を心配して入院したいのです。ホントはずっと一緒にいたいのでした。さっそく家をリフォームし、介護しやすい環境を整えます。

大病院を退院するときに、「もう長くないな、あの患者さんは…」と言われていた五十嵐さんは、仁屋診療所の往診をうけながら暮らすうちに、体調がどんどん回復していきました。大病院で五十嵐さんを担当してしていた看護師、

中村景虎君は、仁屋先生の診療所で五十嵐さんに再会し、元気になった姿に唖然とします。これまでやってきた医療とは違うものを目の当たりにして、自分の中で何かが変化するのを感じています。知らない間に仁屋先生の行動パターンに似てきている自分にも驚いています。

在宅医療とは、通院が困難であったり、自宅で療養をしたい患者さんのお宅に、医師が定期的に往診する医療です。大きな機器は持ていけないので、できる医療は点滴や褥瘡(とこすれ)の処置、尿検査や心電図など限られています。病状が悪くなった場合には、近くの病院に紹介状を書いて受診してもらったり、入院してもらったりします。

“患者さんの日常生活を支える”という重要な役目を持っている在宅医療。病院での医療とはかなり違った知識や技術が必要です。民医連の病院では、設立当初からそのような医療を大切にしてきました。在宅医療や訪問看護を、たとえ採算が合わなくても継続してきました。

学生のみなさん、そんな在宅医療にも興味を持ってみませんか？

医学部進学をめざす受験生を全力応援

模 擬 面 接 会



愛知民医連では、例年医学部進学を目指す受験生対象に「模擬面接会」を実施しています。

医学部入試に欠かせない面接はどうしても緊張してしまうと思いますが、本番さながらの環境、参加学生それぞれの志望校で過去に実際にあった質問事項で練習ができると毎年人気のある企画です。

2021年は10月から12月にかけて計3回実施し、11名の医学部受験生が参加をしました。企画内容は、「身だしなみ・マナー講座」「模擬面接会(個人・集団)」「医師・医学生との交流」と盛りだくさんの内容で行いました。

参加者からは、「自分が面接でどれくらいできるのか知れた。マナーから丁寧に教えていただけてよかった。」「面接後にフィードバックが得られたのも参考になった。」「面接体験で緊張感を持ってでき、具体的に面接を実感できてよかった。」など非常に好評でした。

愛知民医連では、医師を目指すみなさまを応援するため、来年以降も実施を予定しています。医学部受験の前にぜひ参加してみてください。お待ちしております。



奨学生 になって、一緒に医療のこと
社会のこと学びませんか?!

愛知民医連奨学金制度のご案内

対象:医学部・医学科生(医師をめざす方)

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、
愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

ご案内

高校生通信の
感想を送って

図書カードを もらっちゃおう♪

高校生通信Vol.34冬号、いかがでしたでしょうか?
よりよい紙面作成のため、感想をお寄せください。
感想文を送ってくださった方に、図書カードをお送りいたします。

(応募者多数の場合は抽選になります。) 締め切り:2022年3月18日

応募は携帯・パソコン どちらからでも可能です。

QRコードか、下記のURLからアクセスをお待ちしております。

<https://00m.in/0SpjJ>



地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会(愛知民医連)
協立総合病院・総合病院南生協病院・北病院・名南病院・千秋病院

事務局: 〒456-0006

名古屋市中区熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F

TEL : 0120-193-666(フリーダイヤル)

052-883-6997(代表)

FAX : 052-889-2112

Email : aichiminiren@aichiminiren.jp

URL : <http://aichiminiren.jp/>



一日医師体験・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 医学生担当まで